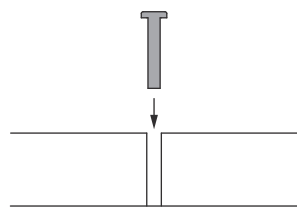


このたびは、アルミ床見切り keid をお買い上げいただきありがとうございます。  
この施工説明書は本製品を正しく施工するために取り扱い方法、注意事項などを説明したものです。施工前によくお読みになり正しく施工していただきますようお願いいたします。

施工パターン①「後挿し込み施工」の場合



※「後挿し込み施工」は製品を最後に取り付ける方法です。

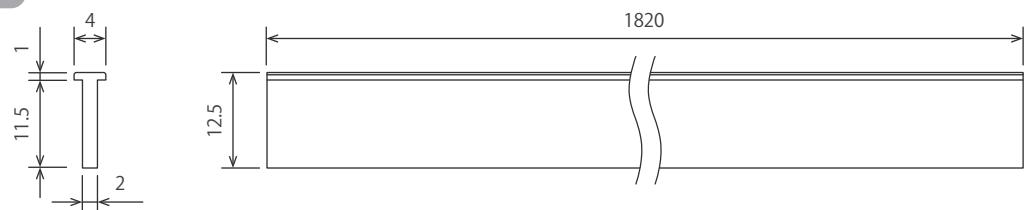
両側の床材を敷いた後に取り付ける「後挿し込み施工」と片側の床材を敷いた後に取り付ける「挟み込み施工」の2つの施工方法がございます。施工状況、工程に併せて施工方法をご選択ください。

☞「挟み込み施工」については裏面をご覧ください。

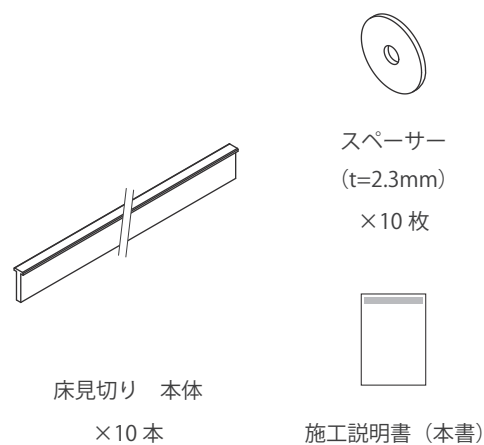
⚠ 注意事項

- \*本製品を連結して使用し、継ぎ目が露出する場合、サンドペーパー等でバリやざらつきを除去いただきますようお願いいたします。
- \*本製品は床材への被りが約1mmとなっており、製品付近で1mm以上床材が伸縮しますと、隙間が生じる場合がございます。床材の選定及び施工は上記を考慮して実施いただきますようお願いいたします。
- \*本製品によって、床材の段差を吸収することはできません。組み合わせる床材の高さは揃えて施工してください。(床材厚 12mm 以上に対応)
- \*製品両サイドの床材の種類が違う場合、不陸が生じやすいため、後挿し込み施工を推奨します。
- \*床材が柔らかく沈み込む素材の場合、本製品の床からの凸部分が、1mm以上の体感になる可能性があります。使用する仕上げ材が柔らかい素材の場合は、現場で検証してからご使用ください。凹凸感を強く感じる際は使用を避けてください。
- \*接着剤の性能をしっかりと確保するため、床材の小口面が木質でかつ平坦であることを前提としております。木質系以外の床材を使用する場合は、床材の高さを調整するための捨て貼りを木質系でかつ平坦なものとし、木部が8mm以上製品と接するように施工ください。床材の厚みにより8mm以上の確保が難しい場合は、施工前に床材の端材等で接着性の検証をし、接着剤硬化後に製品の緩みやぐらつきがないことを確認し施工してください。
- \*一般的な接着剤を推奨しておりますが、施工前に床材の端材等で、接着剤により床材に変色などが起きないことを確認し施工してください。
- \*アルミ製見切り材のため、床暖房では熱くなる場合がございますのでご使用できません。
- \*接着剤が硬化するまで、製品を踏まないようにご注意ください。ずれや抜けなどの原因になります。
- \*保管の際は梱包段ボールに入れ平置きで保管してください。立掛けて保管すると製品が変形する場合がございます。

製品サイズ



梱包内容



必要な工具



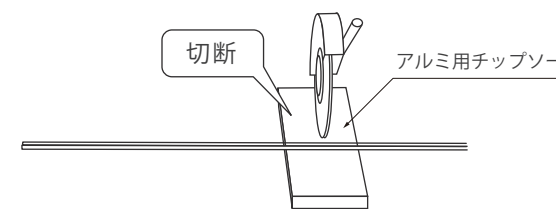
※使用する接着剤は以下を参考に選定をお願いいたします。

[接着剤]  
コニシ ボンド KU928C-X

施工パターン①「後挿し込み施工」の場合

1. 製品の切断

1-1 アルミ用チップソーを使用し、設置場所の長さに合わせて製品をカットします。

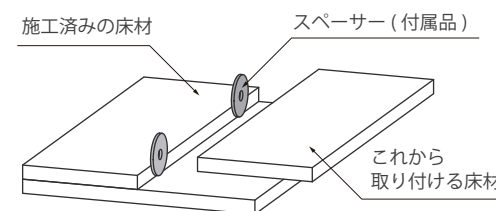


⚠ 注意

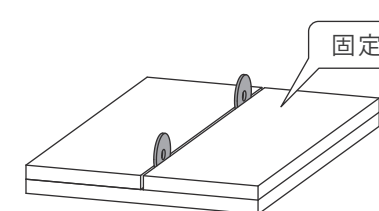
- ・切断にはアルミ用チップソーをご使用ください。
- ・切断後に生じたバリにはやすりを掛けてください。
- ・端部は鋭利になっているため、けがをしないよう取り扱いにご確認ください。

2. 取付の準備

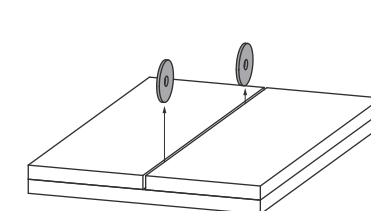
2-1 床材に埃や木くずがないことを確認し、床材と床材の間にスペーサーを挟み込み、溝を作ります。



2-2 挟み込んだスペーサーが動かないように床材を固定します。

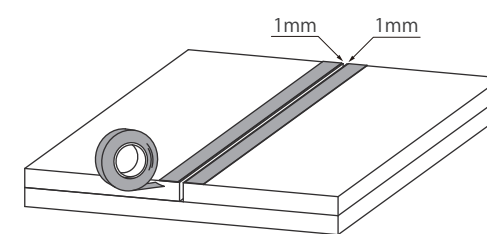


2-3 スペーサーを取り外します。

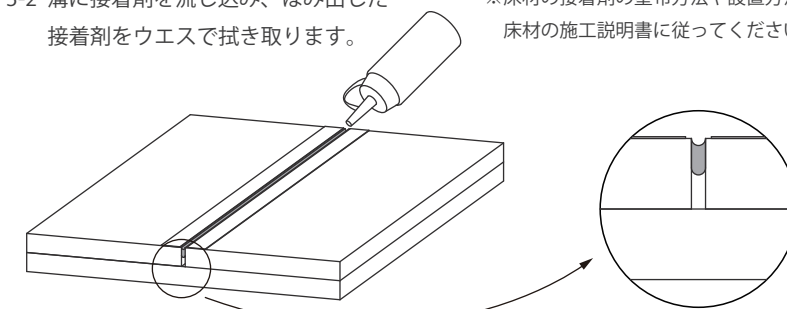


3. 養生・接着剤の塗布

3-1 溝の両端部から1mm程度離れた位置にそれぞれマスキングテープを貼り付けます。



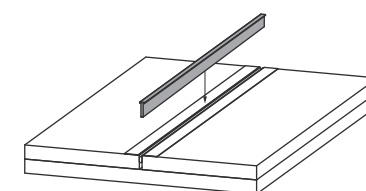
3-2 溝に接着剤を流し込み、はみ出した接着剤をウエスで拭き取ります。



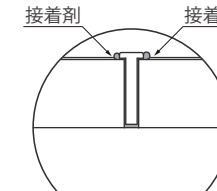
※床材の接着剤の塗布方法や設置方法は床材の施工説明書に従ってください。

4. 製品の取付

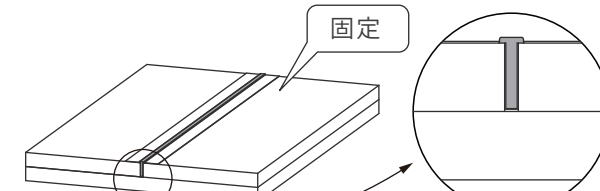
4-1 製品を挿し込み、はみ出した接着剤をウエスで拭き取ります。

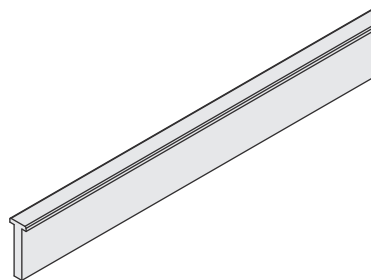


※製品を取り付けたあと、接着剤が両端からあふれ出ることを確認してください。

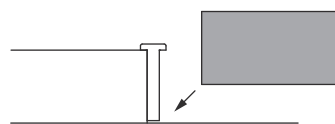


4-2 接着剤が硬化するまで固定します。 ※マスキングテープは接着材が硬化した後に取り外します。





施工パターン②「挟み込み施工」の場合



※「挟み込み施工」は製品を先に取り付ける方法です。

両側の床材を敷いた後に取り付ける「後挿し込み施工」と片側の床材を敷いた後に取り付ける「挟み込み施工」の2つの施工方法がございます。施工状況、工程に併せて施工方法をご選択ください。

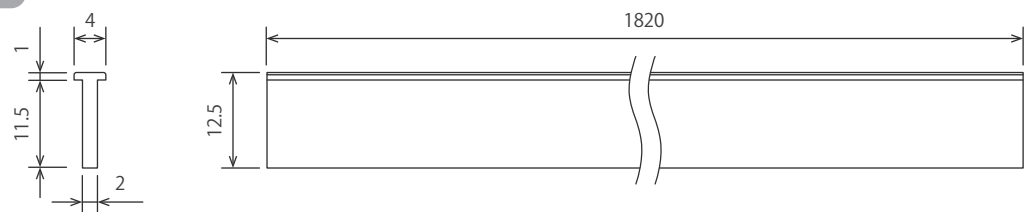
☞「後挿し込み施工」については裏面をご覧ください。

このたびは、アルミ床見切り keid をお買い上げいただきありがとうございます。  
この施工説明書は本製品を正しく施工するために取り扱い方法、注意事項などを説明したものです。施工前によくお読みになり正しく施工していただきますようお願いいたします。

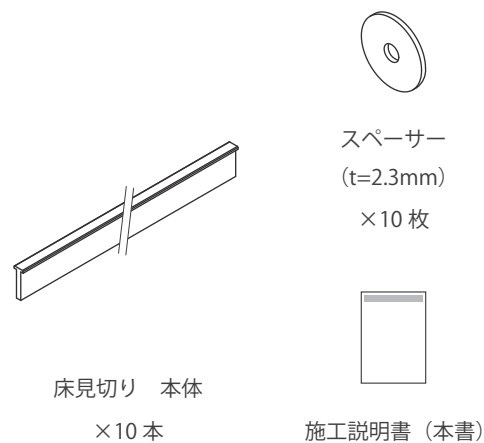
⚠ 注意事項

- \*本製品を連結して使用し、継ぎ目が露出する場合、サンドペーパー等でバリやざらつきを除去いただきますようお願いいたします。
- \*本製品は床材への被りが約1mmとなっており、製品付近で1mm以上床材が伸縮しますと、隙間が生じる場合がございます。床材の選定及び施工は上記を考慮して実施いただきますようお願いいたします。
- \*本製品によって、床材の段差を吸収することはできません。組み合わせる床材の高さは揃えて施工してください。(床材厚 12mm 以上に対応)
- \*製品両サイドの床材の種類が違う場合、不陸が生じやすいため、後差し込み施工を推奨します。
- \*床材が柔らかく沈み込む素材の場合、本製品の床からの凸部分が、1mm以上の体感になる可能性があります。使用する仕上げ材が柔らかい素材の場合は、現場で検証してからご使用ください。凹凸感を強く感じる際は使用を避けてください。
- \*接着剤の性能をしっかりと確保するため、床材の小口面が木質でかつ平坦であることを前提としております。木質系以外の床材を使用する場合は、床材の高さを調整するための捨て貼りを木質系でかつ平坦なものとし、木部が8mm以上製品と接するように施工ください。床材の厚みにより8mm以上の確保が難しい場合は、施工前に床材の端材等で接着性の検証をし、接着剤硬化後に製品の緩みやぐらつきがないことを確認し施工してください。
- \*一般的な接着剤を推奨しておりますが、施工前に床材の端材等で、接着剤により床材に変色などが起きないことを確認し施工してください。
- \*アルミ製見切り材のため、床暖房では熱くなる場合がございますのでご使用できません。
- \*接着剤が硬化するまで、製品を踏まないようにご注意ください。ずれや抜けなどの原因になります。
- \*保管の際は梱包段ボールに入れ平置きで保管してください。立掛けて保管すると製品が変形する場合がございます。

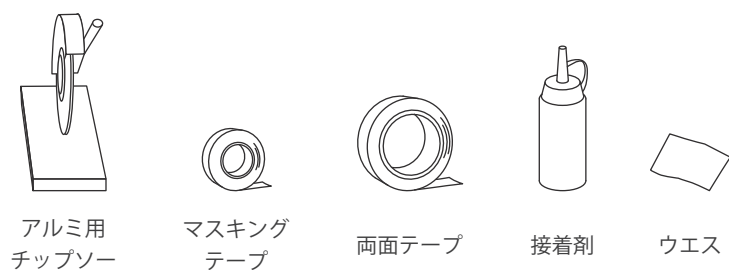
製品サイズ



梱包内容



必要な工具



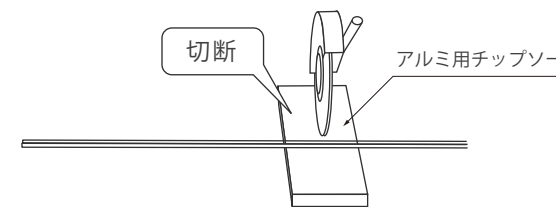
※使用する接着剤及び両面テープは以下を参考に選定をお願いいたします。

[ 接着剤 ] コニシ ボンド KU928C-X [ 両面テープ ] 共同技研化学 300Z300

施工パターン②「挟み込み施工」の場合

1. 製品の切断

1-1 アルミ用チップソーを使用し、設置場所の長さに合わせて製品をカットします。



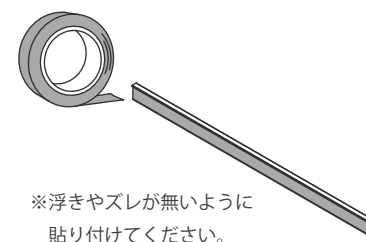
⚠ 注意

- ・切断にはアルミ用チップソーをご使用ください。
- ・切断後に生じたバリにはやすりを掛けてください。
- ・端部は鋭利になっているため、けがをしないよう取り扱いにご確認ください。

2. 両面テープでの固定

2-1 製品の片面に両面テープを貼り付けます。

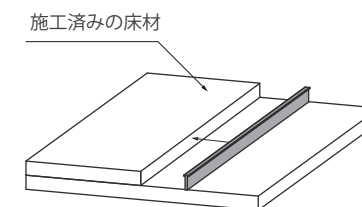
※必ず指定の両面テープをご使用ください。



※浮きやズレが無いように貼り付けてください。

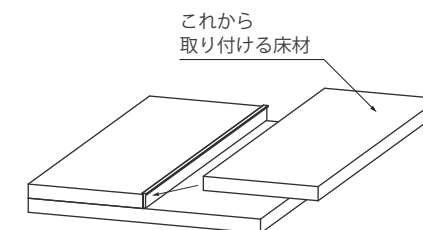
2-2 床材に埃や木くずがないことを確認し、

製品の被りの部分に浮きが無いように床材に固定します。



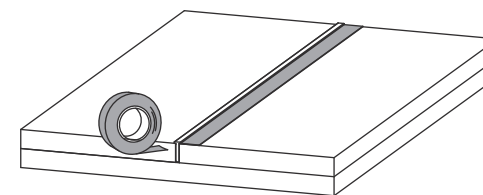
2-3 後から取り付ける床材を

仮置きします。

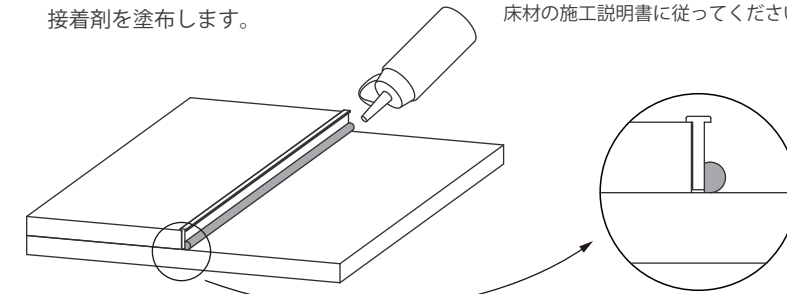


3. 養生・接着剤の塗布

3-1 製品の縁に合わせて、後から取り付ける床材にマスキングテープを貼り付けます。



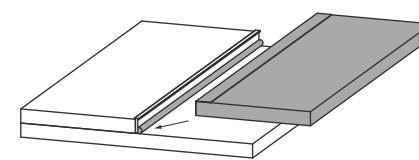
3-2 製品の下部にも接着剤が回るように、接着剤を塗布します。



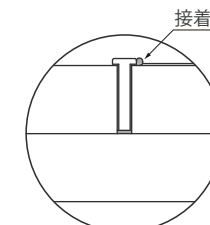
※床材の接着剤の塗布方法や設置方法は床材の施工説明書に従ってください。

4. 床材の取付

4-1 床材をしっかり抑え込んで固定し、はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。



※製品を取り付けたあと、接着剤が接着剤塗布面からあふれ出ることを確認してください。



4-2 接着剤が硬化するまで固定します。 ※マスキングテープは接着材が硬化した後に取り外します。

